

ネギ平床栽培法の省力・高位生産化技術の開発

1 中核機関・研究総括者

埼玉県農林総合研究センター 岡安 正

2 研究期間

2004～2006年度（3年間）

3 研究目的

北関東地域のネギ産地で導入が進んでいる平床栽培は、植え付けに多大な労力を要すること、栽培法が未確立なことなどが普及上の大きな課題となっている。そこで、植え付け作業の効率化を図るために低コストな移植機を開発するとともに、育苗から収穫までの平床栽培技術を体系化した高位生産栽培マニュアルを作成する。

4 研究内容及び実施体制

- ① 低コスト半自動平床移植機の開発（埼玉県農林総合研究センター、井関農機（株））

地床で育苗した大苗を平床ベッドに高能率に移植できる半自動型移植機を開発する。

- ② 平床栽培の省力・高位生産技術の確立（埼玉県農林総合研究センター、ふかや農業協同組合、井関農機（株））

機械移植を前提に、平床栽培における高収量・高品質生産に最適な栽植方法、土寄せ、肥培管理法を明らかにする。

- ③ 平床移植機を利用した高位平床栽培法の実証と栽培マニュアルの作成（埼玉県農林総合研究センター、井関農機（株）、ふかや農業協同組合）

得られた研究成果を総合的に組み立てた新しい生産技術を現地実証するとともに、技術資料の栽培マニュアルを作成する。

5 目標とする成果

ネギの平床栽培における省力・軽作業化と高位生産技術が確立される。これにより、平床栽培の生産規模の拡大と生産コストの低減が期待できる。